

新年あけましておめでとうございます

最近の状況

NEWS LETTER第16号をお届けします。新型コロナの猛威は、ついに年を越しましたが、世界でワクチンの投与も始まりましたので、その成果が現れることを期待するばかりです。今年の海外水ビジネス研究会は、WG活動や水道公論のレポート掲載に加えて、出版という大きな事業を予定しています。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

12月定例会を開催しました

12月17日（木）11時から13時に東京駅八重洲口ノースタワーの大和証券本店会議室で定例会を開催し、会議室に10人、zoomで4人の参加がありました。会議では、森本達男さんからシュタットベルケ(Stadtwerke)についての説明がありました。発表にあたり、全pp.16よりなる資料（三輪千里さんとの共同制作）が事前配布されました。ドイツの地方自治体はドイツ基本法(=憲法)の下で公共サービス提供の保障責任と遂行責任を負っており、この制度の下で、電力・ガス・熱供給・上水道・廃棄物処理・下水道等の公共サービスを行う、シュタットベルケ(Stadtwerke、日本語では「都市公益公社（仮訳）」)という、その出資持分のほとんどを、当該事業を行う地域の地方自治体が所有する民間企業に任されていることが多いことなどを学びました。活発な質疑が行われ、ドイツのシステムへの関心が高まりました。

水道公論1月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、座談会ベトナムWGの成果と展望を、コラム「海外水ビジネスの眼」では世銀グループと公的金融機関の規模比較②」を掲載します。



お正月の花、千両

定例会・準定例会の計画について

- 海外水ビジネス企業の財務諸表を分析する作業グループのzoom打ち合わせ第4回が1月7日（木）20時から
- ZOOM幹事会が1月15日（金）20時から
- 定例会が1月21日（木）12時から14時。講師はJFEエンジニアリングの福田一美常務。会場は、東京駅八重洲口ノースタワーの大和証券本店会議室。ZOOMも併用。
- 1月29日（金）出版予定本の第1次原稿締切

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。